

おとなの発達障害 働き方と職場のコミュニケーション



岩波 明 氏

(昭和大学医学部
精神医学講座主任教授)



西澤 真理子 氏

(リテラジャパン代表)

「生きづらい」×「扱いづらい」から、「共に生きる」へ！

今、注目の「おとなの発達障害」と「コミュニケーション」について
第一人者の二人が現場で何が起きているのか？何が出来るのか？
それぞれの現場の知見をもとに語ります。

- 日時** 2017年11月21日(火)
19時～20時30分(開場18時30分)
- 場所** メディアドゥ・セミナールーム
(東京メトロ東西線竹橋駅直結バレスサイドビル5F)
- 定員** 65名
- 料金** 前売券 3,500円(申し込みは11月20日(月)19時まで)
当日券 4,000円(会場では販売いたしません。ウェブサイトよりご購入ください)
※売上の一部を、毎日新聞社会事業団の社会福祉事業に寄付させていただきます。
- お申し込み方法** リテラジャパンウェブサイト (<http://literajapan.com/20170923-3-2>) より

リテラジャパン 発達障害

- 参加特典** ・西澤真理子著『「やばいこと」を伝える技術』2017年 毎日新聞出版刊(定価1,080円)
・パネルディスカッション「うつ・自殺・格差社会」の講演録(非売品)

主催 毎日新聞出版・リテラジャパン

- プログラム** 19:00 挨拶と紹介 毎日新聞出版
- 19:05 岩波 明先生「発達障害とは何か」話題提供
- 19:25 西澤「ミスコミュニケーション」話題提供
- 19:35～20:00 岩波氏×西澤 対談「多様性を生かすこと」
- 20:00 会場との議論(モデレーター 西澤)
- 20:30 クロージング(会場で書籍販売とサイン会)

近年、関心が高まる「発達障害」。

テレビや雑誌でさまざまな特集が組まれているが、実際の現場での認知度はどうでしょうか？
まだまだ職場や社会の理解は充分とはいえず、発達障害をもつ本人にとっては生きづらく、
また相対する周囲の人間にとっても対応に苦慮する状況となっています。
さらに、管理社会の進行が生きづらさやコミュニケーションの難しさに拍車をかけています。

今回は、10万部超となったベストセラーの「発達障害」(文春新書)の著書もある
発達障害に関する第一人者・岩波明氏と、『「やばいこと」を伝える技術」(毎日新聞出版)の著者で
リスクコミュニケーションの専門家・西澤真理子氏による対談で、
生きづらさやミスコミュニケーションの背景を明らかにし、その解決策を探ります。

岩波 明 (Akira Iwanami)

昭和大学医学部精神医学講座主任教授(医学博士)。1959年、神奈川県生まれ。東京大学医学部卒業後、都立松沢病院などで臨床経験を積む。東京大学医学部精神医学教室助教授、埼玉医科大学精神医学教室准教授などを経て、2012年より現職。2015年より同大学附属鳥山病院院長を兼任、ADHD 専門外来を担当。精神疾患の認知機能障害、発達障害の臨床研究などを主な研究分野としている。おもな著書に15万部超のベストセラーとなった『発達障害』(文春文庫)や、『大人のADHD』(ちくま新書)など多数。



西澤 真理子 (Mariko Nishizawa)

上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。銀行、製品安全コンサルタントを経て、英ランカスター大学環境政策修士号、インペリアルカレッジ・ロンドンにて博士号を取得(PhD in Risk Policy and Communication)。ドイツ学術交流会(DAAD)国費奨学生として、ドイツ・バーデンビュルテンブルク技術アセスメントセンター客員研究員。フンボルト財団ドイツ政府国費研究員、シュトゥットガルト大学環境技術社会学科プロジェクトリーダーなど、10年のイギリスとドイツでの研究生生活を経て2006年帰国。リテラジャパンを設立。現在、東京工業大学、筑波大学非常勤講師。総務省、厚生労働省、東京消防庁、科学技術振興機構、日本学術会議、日本学術振興会の委員を務める。IAEA(国際原子力機関)コミュニケーションコンサルタント。2011年には福島県飯館村アドバイザー。単著に『リスクコミュニケーション』(2013年、エネルギーフォーラム新書)。国内外での講演、論文多数。



イベント内容、取材などのお問い合わせ

リテラジャパンセミナー事務局
担当: (有)アルパシエ 小澤
Tel: 03-6423-8262 (祝祭日を除く平日9:00-18:00)
Fax: 03-6423-8263 (24時間受付)
Mail: panel@literajapan.com